

茅ヶ崎
太陽の郷
だより
2018年
夏号

発行：一般社団法人 南湖荘
茅ヶ崎市南湖7丁目12869番地
Tel.0467-87-0819



深い精神性を表す法隆寺夢殿の救世観音像

「シリーズ」仏像のみかた

第二回 体型から―虚と実―

人間の体型に虚と実の二種類があるということ、東京芸大の教授であった解剖学者故三木成夫氏から教わりました。胸が薄くて後に引けたのが虚の体型、胸が厚くて前に張り出したのが実の体型。体質的には虚の人は朝に弱く、実の人は

朝から元気で張り切っているそうです。それはともかく、仏像の歴史の上でも、この体型の虚と実、よく当てはまります。

健康的な、実の体型から神秘性を表現する、虚の体型へガンダーラ・インドで初めて造られた仏像は、いずれも胸の

張った実の体型。中国に伝わっても初めは実の体型、南北朝の北魏時代、四六〇年から彫られた雲岡の石仏はまさに健康優良児、堂々たる偉丈夫です。ところが北魏でも、五世紀末からの龍門石窟の仏像になると、胸が後に引けた虚の

体型に変化します。恐らく、漢民族国家の南朝における爛熟した貴族文化でこの体型の人体表現が好まれ、南朝の仏像から北朝の仏像に伝わったのでしょう。

前回の話で触れた漢民族式



水野敬三郎氏略歴。東京芸術大学名誉教授。新潟県立近代美術館名誉館長、半蔵門ミュージアム館長。日本の仏教美術史学者。著書『奈良・京都の古寺めぐり-仏像の見かた』など多数。

服制による、衣縁や衣文線の勢いのある動きと、虚の体型によつて、仏像の肉身表現が抑えられ、精神性の表現に比重が移ったといえます。これが朝鮮半島を経由して日本の飛鳥時代の仏像に伝わりました。中でも法隆寺夢殿の救世観音像は、この体型の典型的な例で、神秘性と深い精神性を感じさせる傑作です。

優しさ、慈愛をあらわす

女性像に用いられた虚の体型

中国の仏像は南北朝時代末から、インド美術の影響のもと、再び実の体型が支配的となり、日本でもそれを承けて天平から平安時代前期にかけて実の体型となります。平安時代後期、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像で、虚の体型が復活します。体型の虚と実、本来男女の別を問わないのですが、虚の体型は中国で早くから女性らしさの表現として、女性像に用いられてきました。鳳凰堂の像でも、やさしく浄土に迎えてくれる慈容を表現しているといえます。



【ホタルブクロ】花言葉 忠実、正義

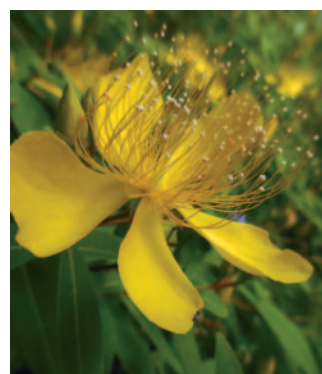
蜜の出る時期に開花し、大きな釣り鐘状に膨らんだ花を咲かせます。子供がこの袋のような

花の中に蜜を入れて遊んだことが名の由来です。



【ビヨウヤナギ】花言葉 多感、気高さ

花びらよりも長く、金の糸のような繊細なおしべが特徴です。名の由来は多説ありますが、中国の古詩の中で、玄宗皇帝が楊貴妃を偲び詠んだ詩の情景に重ねて名づけられたという説もあります。



第3回
プール

安全・安心、皆さまの交流の場となるプールを目指して

自然エネルギーを活用して合理的に水温、室温、水質を管理する手法は、太陽の郷の創設者・高田準三氏が掲げた「人と自然との共生」という理念そのもの。現在のプールは南湖院時代から三代目ですが、二代目のプールから携わっている責任者の神奈川さんは、「人間が本来もっている自然治癒力を引き出す、という南湖院の創設者畠安の思想を継承した準三先生の想いを今も

20m×4コース、太陽熱を利用した省エネ設備が特徴のプールは、週6日利用可能（火・金の午前中は、ご入居者様は無料）で、7名のスタッフが管理・運営に当たっています。



大正15年に建設された一代目のプールは屋外だったが、すでに水質維持に配慮されていた



左から神奈川一郎さん、島森やよいさん、小林真帆さん

受け継いでいます」と語ります。
心身共にリフレッシュ！
ぜひプールのご利用を!!
プールサイドで利用者の方々を見守りながら、プール管理を担当している島森さんも、「皆さんが気持ちよく利用できるよう人間の五感で管理するようにと準三先生によく言われました」と。確かにここでは、プール特有の消毒のにおいが全くありません。「とにかく安全・安心であること、水の色、におい、温度など水質レベルには常に気をつけています」。受付を担当している小林さんは、「ご入居者様同士、また外部の会員様との交流の場になるよう、さりげない声かけに努めています」と話します。水中運動と楽しいおしゃべりが良い気分転換になりそうです。

- 会期:2018年9月30日(日)まで
- 場所:茅ヶ崎ゆかりの人物館
茅ヶ崎市東海岸南6-6-64
TEL.0467-81-5015
- 開館日時:金・土・日曜日・祝日
(臨時休館あり)
10時~18時(入館は17時半まで)
- 観覧料:200円 ※18歳未満無料
- 主催:茅ヶ崎市

代表作『武蔵野』で知られる国木田独歩は結核を患い、最期の141日を「南湖院」(太陽の郷の前身)で過ごしました。太陽の郷で保管していた当時の資料を提供し、茅ヶ崎ゆかりの人物館で記念展が開催されています。ぜひお立ち寄りください。



茅ヶ崎ゆかりの人物館企画展
没後二一〇年
国木田独歩

茅ヶ崎・夏のイベントを「体験入居」で!

【1泊3食】 各日定員:2組4名様まで
ご優待価格:お一人4,760円(税込)(通常価格:8,540円(税込))

「浜降祭」「花火大会」の会場へも徒歩圏内です。



はまおり「浜降祭見物」体験入居

7月15日(日)
~16日(月・祝)

7月16日の朝5時から一番輿が祭典会場に入場。入場時と、式典終了時(8時以降)に、神輿が海に入る「みそぎ」を太陽の郷からは歩いて見物に行けます。



「サザンビーチちがさき花火大会鑑賞」体験入居

8月4日(土)~5日(日)

8月4日の午後7時半から始まる花火大会を、ご入居者様と一緒に太陽の郷の屋上からご鑑賞いただけます。打ち上げ数約3000発。特等席からお楽しみください。

※毎年ご好評の体験入居のため、初めてご予約の方を優先させていただきます。ご了承ください。

※上記日程以外の体験入居や見学(随時受付)もお気軽にお問い合わせください。※月・水・金・土曜日はシャトルバスのご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。

(公社)全国有料老人ホーム協会 会員

住宅型有料老人ホーム 茅ヶ崎 **太陽の郷**

お問い合わせ・見学のお申し込みは

☎ 0120-710-728

茅ヶ崎太陽の郷

検索

住所:茅ヶ崎市南湖7丁目12869
交通:JR茅ヶ崎駅南口よりバス停「仲町」下車徒歩約8分
事業主体:一般社団法人 南湖荘 TEL.0467-87-0819

ホームページもご覧ください!